

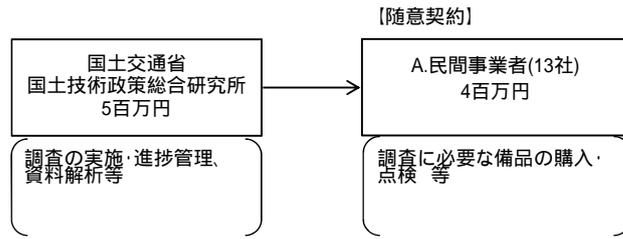
平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	内湾域における里海・アピールポイント強化プロジェクト		<b>担当部局</b>	国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H20/H22		<b>担当課室</b>	海洋環境研究室		<b>室長</b>	古川 恵太		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	44 技術研究開発を推進する					
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、 通知等</b>	-					
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	沿岸域と水辺の環境の係わりについて、生物・環境の両面から概念的に繋がりが理解できる概念モデルを構築するとともに、アピールポイントのあり方について整理を進め、その評価手法の確立、市民が主体的に参加できる活動メニューの構築を通して、統合沿岸域管理としての全国海の再生プロジェクトを推進する。								
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	アピールポイントのあり方の検討、評価手法の確立、住民参加のメニュー作りのため国内外の沿岸域再生の方向性の整理、実施例に関するヒアリング、生物・環境のモニタリング手法の開発、地域住民参加の社会実験を通して実践的に検討を行った。								
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他				
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
	予 算 の 状 況	当初予算	13	5	5	-	-		
		補正予算	0	0	0	-			
		繰越し等	0	0	0	-			
		計	13	5	5	-	-		
		執行額	13	5	5				
	執行率(%)	100	100	100					
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (22年度)	
	全国海の再生プロジェクトを推進する。 定量的な成果指標については、研究のため示すことができない。		成果実績						
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	アピールポイントのあり方の検討、評価手法の確立、住民参加のメニュー作り等を行う。 定量的な活動指標については、研究のため示すことができない。		活動実績 (当初見込み)	回			( )	( - )	
<b>単位当たり コスト</b>	(円 / )		算出根拠	成果実績及び活動実績の定量的な指標が示せないため、単位当たりコストについても示すことができない。					
<b>平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
		-	-						
	計								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、平成22年度にアピールポイントにおける評価手法の確立及び住民参加のメニュー作りを行ったことにより、事業の当初の目的を概ね達成したものと認められることから、今後は得られた成果を他地域へ展開するよう取組を進めることとし、本事業については廃止することとする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		事業目的の達成状況から、改めて予算措置を講ずる必要性はないと認められるため廃止事業とする	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

平成22年度実績を記入



旅費 1百万円
諸謝金 49千円

少額のため、千円単位

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.(株)江田商会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	底質試料分析用機器(粉碎機)	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)江田商会	底質試料分析用機器(粉碎機)購入	1	随意契約	
2	JFEアドバンテック(株)	計測器オーバーホール	1	随意契約	
3	(株)池田理化	KOD FX他購入	0	随意契約	
4	セナーアンドパーンズ(株)	データ処理装置購入	0	随意契約	
5	日光理化学工業(株)	ALC他購入	0	随意契約	
6	(株)寺畑商会	水中ポンプ他購入	0	随意契約	
7	JFEアドバンテック(株)	リチウム電池購入	0	随意契約	
8	(有)アイオーテック	波高計点検整備	0	随意契約	
9	三洋商事(株)東京支店横浜事務所	救命胴衣他購入	0	随意契約	
10	(財)気象業務支援センター	月刊統計データCSV購入	0	随意契約	